

Thank You, Partner! Thank You, Everyone! Thank You, BRIDGE!  
～ 初めての国際試合「第45回PABF選手権」に参加して ～

スクール部門 代表選手 杉本 大輔

興味を持ったのは高校1年の春、トランプ好きの友達にすすめられて始めたコントラクトブリッジ。そして今年、高校2年の6月、僕はスクール部門の日本代表としてインドネシア、バンドンに飛び立った。



[2007年 日本スクール部門代表チーム] \*21歳未満

監督: 寺本 直志

メンバー: 後藤田俊輔—伊井康朗、中館龍—中村和宏、笹川雄太—杉本大輔 \*写真の順番ではありません

「四谷にブリッジセンターがあるらしいけど行ってみる？」と学校でプレイする仲間に誘われ、顔を出してからは強化練習会、代表選考会、朝日新聞社杯、横浜インビテーショナルなどの試合を経て第45回PABF選手権まで‘あっ’という間だった。旅立ちの前夜は異郷の地への訪問を前にして胸が高鳴り、なかなか寝付けなかった。

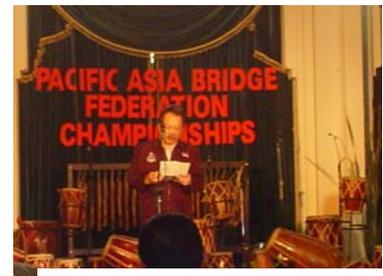
同じアジアだけあって、ものの数時間でジャカルタ空港に着くと、自分が今まですごい小さな世界に住んでいたことを実感した。人の熱気、照りつける太陽。同級生のパートナーもきっと同じことを考えている。バスで3時間移動し、バンドンのホテルについたのは夜の遅い時間。くたくたで部屋に着くなりベッドにもぐりこんで寝てしまった。



強烈な陽射しのバンドン...。  
でも思ったより暑くない。

朝起きて、シャワーを浴びてチームメイトの後藤田さん（学習院大）、中村さん（東北大）がシェアする部屋に行きブリッジをして遊んでいたら、中館さん（早稲田大）、伊井さん（京都大）も来たので、気付いたらスクールチームの全員が集合していた。みんな大学生なので、僕と笹川（パートナー）は緊張していた...ということもなく、わいわいとブリッジを楽しんだ。

オープニングセレモニーにはいろいろな国のいろいろな人が来ていた。私たち日本人から、地元インドネシア、シンガポール、タイ、中国、台湾...（といってもはっきりとは見分けられないけれど）、白人の選手もいた。オーストラリアかな？千葉に住んでいて今までそれほど多くの外国人を見てこなかったから、当然、とは言っても少し驚いた。



オープニングセレモニー  
@インドネシア・バンドン州迎賓館

パートナーとの初めての国際試合は v.s. シンガポール。大差をつけて勝った。うすうす手応えは感じていたけれど、とっても気持ちがよかった。同時にルールを覚えて1年弱の僕でも勝てちゃうんだなと感じた。

と、思えたのもつかの間。2日目、3日目、4日目と日を重ねるうちに負けが込んでいき、最終的に負けてしまった。試合は 1st ラウンドと 2nd ラウンドに分かれている。2nd ラウンドでがんばろうと意気込んで臨んだけど、こてんぱんに叩きのめされて...、それでもめげずにがんばったけれど、やはりスクール部門は負けてしまい、世界選手権代表権を賭けて戦うプレイオフに進出することはできなかった。

（ある朝一番の試合では、僕がうっかり集合時刻にいなかったもので、遅刻ペナルティをつけられてしまった。遅刻がペナルティになるところが社会性を重んじる競技なんだな、と興味深く思ったけど、また怒られそうなので胸にしまっておこう...。）



<第45回PABF選手権 スクール部門結果>

1位	シンガポール	190.75
2位	台湾	184.25
3位	インドネシア	151.25
4位	タイ	146
5位	香港	138
6位	日本	82.25



上位5カ国によるプレイオフの結果、シンガポール、台湾、インドネシアが2008年に開催予定の世界選手権へのチケットを手に入れた。

試合のそばで、いろいろな人と出会い、いろいろな話をたくさんした。タイの仏教は日本とは違うこと、台北には案外日本語が入ってきていることとか。大学で日本語を勉強するインドネシアの学生とも話せたし、とてもいい経験になった。



先輩たちはがんばっていたのに、負けてプレイオフに進めなかったのは悔しかった。だけど、悔しいのと同時にちらっと（ほんとにちらっとだけ）みえたブリッジの、深いところにある面白さが僕をさらに虜にしまった。

全ての試合が終わった…。もう離れなくてはならない。10日間にわたったPABF選手権はエンディング・セレモニーを迎え、翌日の朝、ジャカルタ空港へ向かうこととなった。



ジャカルタに着いてみると、高地にあるバンドンはインドネシアでは「避暑地」だったんだなと納得させるほどの暑さ。サウナにいるみたい。その日は飛行機の出発までの時間、ジャカルタに住んでいる日本人の方々のブリッジクラブで親善ゲームをした。既婚の女性が多いように見受けたのだが、僕はなんとそこで、かつてインドネシアに住んでいた僕のクラスメイトの一家と親しかったという方と出会ってしまい（！）世界は広いのか、せまいのか、いまいちわからなくなってきた。



おそらくブリッジをしていなかったら、日本を離れた彼の地でこんなにもたくさんの人と会うことはきっとなかったろうし、インドネシアに行くことさえなかったかもしれない。喜び、驚き、悔しがり、笑った体験だって、パートナーと過ごした2週間だってなかったかもしれない。ブリッジをしていてよかったな、と純粋に僕は思った。

来年のPABFは受験勉強のため参加できないけど、再来年こそ代表に返り咲いて世界の大舞台で戦いたい。その時はパートナー、よろしく！ ... その前にちゃんと大学に入らなくちゃ...

最後に一言、これからブリッジを始める方へ。  
ブリッジはどんなトランプゲームより楽しめます。始めた当初はいろいろと複雑に感じるかもしれませんが、それも面白い、チャレンジしがいがある、と思ってとりあえず続けてみるといいのではないのでしょうか。上手になるにはきっとそれだけの時間がかかるでしょうが — 現に僕はいろいろな約束を覚えるのに苦労しましたが — そういう全てが知的好奇心を刺激し、苦労したとしてもそれをペイするだけの、さらにおつりがくる位の奥深さと懐の広さ(?)がブリッジにはあると思います。特に僕のいるスクール部門(21歳未満です)は、日本ではまだプレイヤーが少ないので、高校生、中学生、もしかすると小学生でも代表になれるチャンスがあるかもしれません。  
ぜひ、一緒にブリッジをしましょう！

**Thank You, Partner ! Thank You, Everyone ! Thank You, BRIDGE !!!!!**